

項目番号	14	項目	学習習慣の確立に向けた学校と家庭との連携
学校名	熊谷市立星宮小学校		
タイトル	親子の関係づくりと家庭学習		



家庭教育アドバイザーによるワークショップ 「親の学習」

家庭学習について考える

1 家庭学習とは・・・

- (1) 宿題：期日が決められた、選ぶことのできない課題
(基礎学力を定着させるために、やらなければならない学習)
- (2) 自主学習：自分の力や関心に合わせて、計画的及び主体的にする課題
(自分を向上させるためにする学習)

2 自主学習について

- (1) 目的：何のために？
 - ・自分の弱点を補うため。
 - ・学校で時間が足りなくて、作業が終わらなかったとき、追いつくため。
 - ・得意なものを、より得意にするため。
 - ・興味のあることを、より深く探っていくため。
 - ・自主的に予習・復習する力をつけるため。
- (2) 時間と時刻
 - ・1日の宿題を含めて、学年×15分くらいが目標となる。
→ただし、その時間だけ、やればよいというのではなく、「やるべきこと」や「やりたいこと」が十分にできたときが終わりのとき。
 - ・なるべく決まった時間に行う。
→習い事などで週に数回ズレることは、仕方ない。
始める時間がまちまちになってしまったり、夜遅くに学習したりするのは生活リズムが乱れてしまって、かえって逆効果。
- (3) 「いい学習」のできる環境
 - ・自分にとって、集中して学習できる場所を探す。
→漫画・テレビ・遊び道具・菓子などが身近にあって、集中できるだろうか。
 - ・生活リズムを見直す。
→遊び方・休憩の取り方・テレビを見る時間など、自分の生活を振り返って、時間を作り出そう。
- (4) 内容
 - ・「量より質」・・・ノートにたくさん書けばよいというものではない。
 - ・「偏りなく」・・・1教科だけでなく、様々な教科にチャレンジ。



家庭学習を考える
参加者によるワークショップ



【成果】 親子の関係づくりを学ぶとともに、家庭での役割を再認識でき、学校と家庭での課題を共有化することで家庭学習の習慣化を図ることができつつある。